1-1 日本とその周辺の地震活動(2015年11月~2016年4月) Seismic Activity in and around Japan (November 2015 - April 2016)

気象庁

Japan Meteorological Agency

今期間,日本とその周辺で M5.0 以上の地震は 65 回, M6.0 以上の地震は 11 回発生した.このうち最大のものは,2016 年 4 月 16 日に熊本県熊本地方で発生した M7.3 の地震である.また,2011年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年 (2011年)東北地方太平洋沖地震」(M9.0,最大震度 7,以下「東北地方太平洋沖地震」と呼ぶ)の余震が,前期間に引き続き,岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した.2015年 11 月~2016年 4 月の M5.0 以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す.

また、2000年1月~2016年4月の東海から四国にかけての深部低周波地震の震央分布を第1図(c)及び(d)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである.

- (1) 北海道地方とその周辺の地震活動(本巻「北海道地方とその周辺の地震活動」の頁参照) 2016年1月12日02時08分に北海道北西沖の深さ265kmでM6.2の地震(最大震度3)が発生した. この地震は太平洋プレート内部で発生した. 発震機構は北東 南西方向に張力軸を持つ型であった. 2016年1月14日12時25分に浦河沖の深さ52kmでM6.7の地震(最大震度5弱)が発生した. この地震は発震機構が西北西 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した.
- (2) 東北地方とその周辺の地震活動(本巻「東北地方とその周辺の地震活動」の頁参照) 2016年1月11日15時26分に青森県三八上北地方の深さ10kmでM4.6の地震(最大震度5弱) が発生した.この地震は、地殻内で発生した.

今期間に東北地方太平洋沖地震の余震域で発生した M5.0 以上の地震は 7 回, M5.5 以上の地震は 2 回であった.

- (3) 関東・中部地方とその周辺の地震活動(本巻「関東・中部地方とその周辺の地震活動」の頁参照) 2016年4月1日11時39分に三重県南東沖でM6.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、 発震機構(CMT解)が北西 - 南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸の プレートの境界で発生した。震度1以上を観測する余震は発生していない。
- (4) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(本巻「近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 | の頁参照)

2015年12月14日15時01分に鳥取県中部の深さ8kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した.この地震は地殻内で発生した.この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である.今回地震が発生した領域では、2015年10月15日からまとまった地震活動が見られ、12月31日までに最大震度1以上を観測する地震が32回(最大震度4:4回,最大震度3:2回,最大震度2:7回,

最大震度 1:19回) 発生した.

(5) 九州地方とその周辺の地震活動(本巻「九州地方とその周辺の地震活動」の頁参照)

2015年11月14日05時51分に薩摩半島西方沖でM7.1の地震(最大震度4)が発生した.この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した.この地震により、鹿児島県の中之島(海上保安庁)で30cmの津波を観測した.また、この地震の震央周辺では地震活動が活発となり、2015年11月15日04時20分にM5.9の地震(最大震度3)が発生するなど、最大震度1以上を観測する地震が2016年4月30日までに27回発生した(2015年11月14日05時51分のM7.1の地震を含む).

2016年4月14日21時26分に,熊本県熊本地方の深さ11 kmで M6.5 の地震(最大震度7)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は北北西 – 南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。また、この地震の震央付近では、2日後の4月16日01時25分に、深さ12 kmで M7.3 の地震(最大震度7)が発生した。この地震も地殻内で発生し、発震機構(CMT解)は南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。その後、熊本県から大分県にかけて地震活動が活発な状態で推移した。この一連の地震活動の中で最大震度5弱以上を観測した地震が4月30日までに18回発生している。気象庁は、この一連の地震活動を「平成28年(2016年)熊本地震」(英語名:The 2016 Kumamoto Earthquake)と命名した。

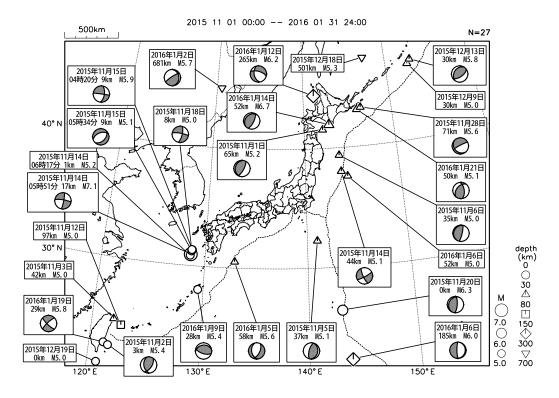
(6) 沖縄地方とその周辺の地震活動(本巻「沖縄地方とその周辺の地震活動」の頁参照)

2015年11月12日00時33分に与那国島近海の深さ97kmでM5.0の地震(日本国内の最大震度3)が発生した.この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した.

2016年2月6日04時57分に台湾付近でM6.4の地震が発生した. 発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型である.

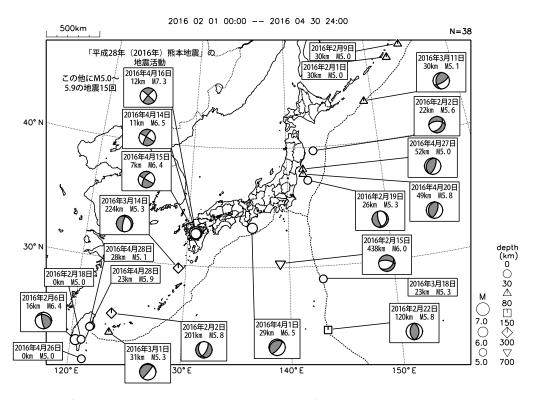
なお、本巻の気象庁作成資料は、特段の断りがない限り、国立研究開発法人防災科学技術研究所、 北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児 島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、 青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを用いて作成している。ま た、IRIS の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成している。2016年 4月以降の震源データについて、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合があ る。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

日本とその周辺の地震活動(2015年11月~2016年1月、M≥5.0)

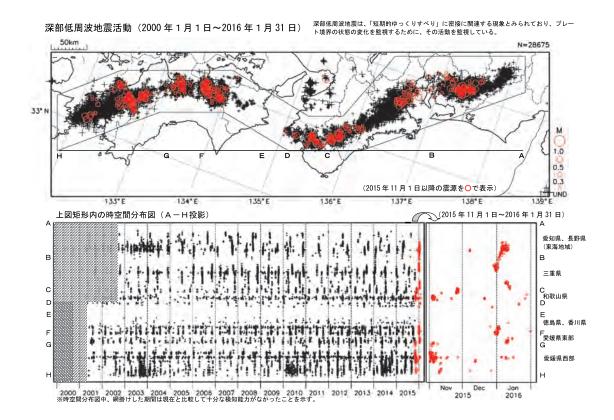


第1図 (a) 日本とその周辺の地震活動(2015年11月~2016年1月, $M \ge 5.0$,深さ ≤ 700 km). Fig.1(a) Seismic activity in and around Japan (November 2015 - January 2016, $M \ge 5.0$, depth ≤ 700 km).

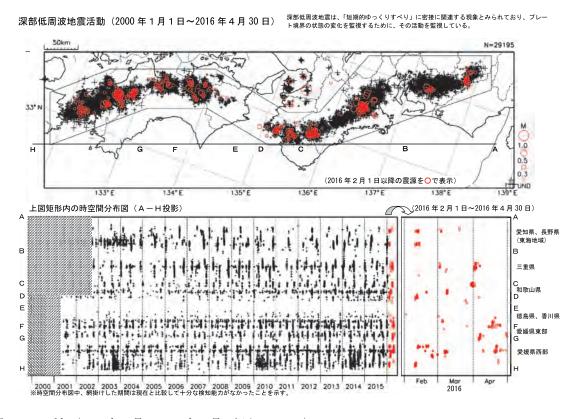
日本とその周辺の地震活動(2016年2月~4月、M≥5.0)



第 1 図 (b) つづき(2016 年 2 月~ 4 月, M \geq 5.0,深さ \leq 700 km). Fig.1(b) Continued (February - April 2016, M \geq 5.0, depth \leq 700 km).



第1図 (c) 東海地域から豊後水道にかけての深部低周波地震活動(2000年1月~2016年1月,深さ \leq 60 km). Fig.1(c) Seismic activity of Low-Frequency Events from the Tokai region to the Bungo Channel (January 2000 - January 2016, depth \leq 60 km).



第 1 図 (d) つづき(2000 年 1 月~ 2016 年 4 月,深さ \leq 60 km). Fig.1(d) Continued (January 2000 - April 2016, depth \leq 60 km).